

燃料費の推計に当たっては、下記のような条件を元に計算を行った。

#### 電気

【契約種別】 業務用電力（契約電力量50kW～2,000kW未満）  
⇒契約電力負荷：66kW（夏期平均最高値に、現在「熱」「動力」として使用している電力も加味）とする

【料 金】 基本料金（1,570円/kW）／電力量料金・夏期（12.02円/kW）／電力量料金・その他（10.93円/kW）

#### 都市ガス

【契約種別】 一般契約C（時間帯別B契約第2種）

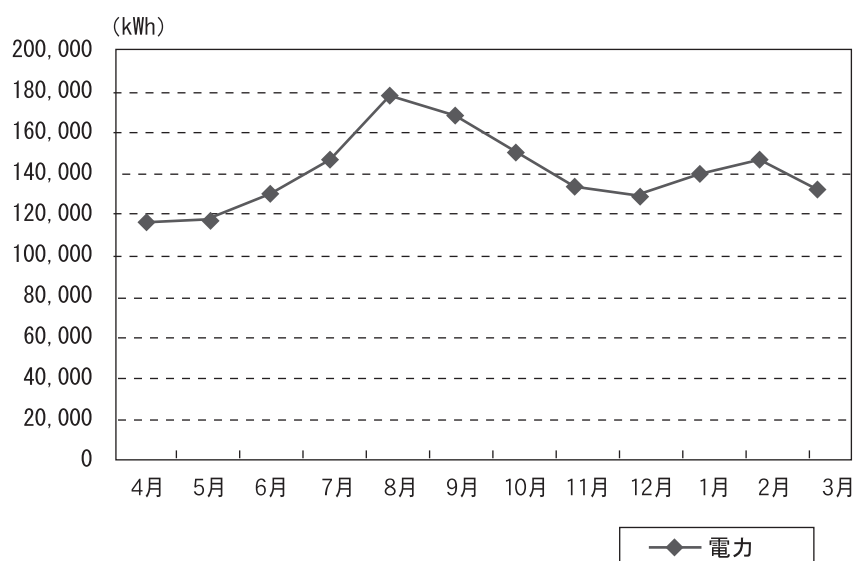
【料 金】 基本料金（2,387.00円）／従量料金（137.17円/m<sup>3</sup>）

※いずれも税抜き

### 3. 中規模スーパーモデル

今回の調査では、2件回収するにとどまった「卸・小売業」の中でもスーパーについては、市内各所に複数の店舗が存在している。特にこれらの事業所では、近年営業時間の延長が実施される傾向にあり、エネルギー消費量が増加する傾向にある。ここでは、市内での汎用性の高いと考えられる中規模のスーパーについて「卸・小売業④」をベースに分析し、コジェネレーションシステムのシミュレーションを行う。

なお、同様の規模のスーパーは市内に5店舗ある。



卸・小売業④の燃料種別エネルギー消費量（月次）

#### （1）季節ごとの一日のエネルギー消費パターン

この事業所のエネルギー消費量を、一般的なスーパーにおける季節別、時間ごとのエネルギー消費モデル※を元に、営業時間を実態に即した形（元にしたデータでは19時閉店の店舗を対象にしているが、ここでは23時閉店の店舗をシミュレーションの対象にした）で分析すると、電気と熱別にそれぞれ①、②のような需要パターンを描くことができた。